

2026 年 7 月 10 日（金）開催 学術情報流通に関する連続セミナー 第 13 回
「知の集積が知を吐き出す装置になるとき：AI は研究の何を変えるか」
開催報告

2026 年 7 月 10 日（金）13:30～15:00、研究大学コンソーシアム「学術情報流通の在り方に関する連絡会」主催による、学術情報流通に関する連続セミナー第 13 回「知の集積が知を吐き出す装置になるとき：AI は研究の何を変えるか」を開催しました。

今回は、東北大学情報科学研究科の西羽美准教授を講師に迎え、西氏が実際に AI を活用して研究を進めてきた自身の経験を踏まえ、AI 技術の進歩に伴い、その活用方法がどのように変化してきたのかについて、具体的な研究事例を交えながら紹介されました。あわせて、研究者へ与えたインパクト、AI が生み出した成果に対する評価について率直な見解が示されました。AI 技術が急速に発展する中、今後の研究活動や学術情報流通のあり方を考える貴重な機会となりました。

質疑応答は、北陸先端科学技術大学院大学の小泉周理事・副学長のファシリテーションのもと、会場およびオンライン参加者から活発に質問や意見が寄せられました。「人間による成果発表を前提としてきた学術情報流通の仕組みは、AI による大量の知識生産にどう対応するか」「AI が研究活動に広く浸透する中で、人間に求められる能力とは何か」といった論点を中心に、研究と AI の関係、さらには学術情報流通の将来像について活発な議論が展開されました。

講演終了後に会場で開催されたアフターセッションには、対面参加者の多くが参加し、講師を囲んで活発な意見交換が行われました。

■参加者数 192 名（対面 27 名、オンライン 165 名）

■当日の様子



講演する西准教授



西准教授の講演に聞き入る会場参加者



アフターセッションにて活発に意見交換する会場参加者

■アンケート結果 回答数：99

○所属機関

国立大学：63、私立大学：19、国立研究機関・官公庁：8、公立大学：4、民間企業：3、大学共同利用機関法人：1、その他：1

○職種

職員（図書系）：33、URA：22、教員・研究職：19、職員（事務系）：9、職員（研究推進系）：7、学生：3、出版関係者：1、その他：6

○セミナーは参考になりましたか

参考になった：81、まあ参考になった：17、あまり参考にならなかった：1

○ご意見・ご感想 ※公開の同意をいただいたものです。

- ・自分の業務に直接参考になるわけではないが（そのことはタイトルからわかっていて視聴していたが）、面白い話を聞けたので大満足。先生が仰っていたとおり、最新動向ならAIに聞くのが一番だから実践の話をする、としてくれたことが良かったのだと思う。
- ・現場の研究者が実際にAIを使って研究を進めた事例が参考になりました。
- ・AIに関するテーマであれば、大学事務の業務にも生かせると思い、参加いたしました。今後もAIに関するテーマがあれば、ぜひ参加して勉強したいと思っています。
- ・人間の能力を超えたAIによるアウトプットが、今後のサイエンスの世界をどのように変えていくのか、今、まさに過渡期なのだと思います。最先端の取り組みを伺うことができ、とても有意義でした。
- ・本日、講師の語り口がとても親しみやすく、大変面白く拝聴させていただきました。AIで研究の速度、パフォーマンスがあがっているのを研究者本人から聞けて参考になりました。
- ・研究現場にとって、AIがどのようなものなのかが、とても良くイメージできました。また、AIと人の関係、有り方について、意見交換も含めとても参考になりました。
- ・貴重なご講演をありがとうございました。技術的に高度なお話と、ヒューマンな視点からの質問の化学反応が面白かったです。
- ・最後の、「AIとの共生時代において、人間に求められる能力とは何か？」というような質問が、とても興味深かったです。
- ・AIが現実的に研究を遂行していることを聞いて衝撃的だったが、同時に学術世界が新しいフェーズに進んでいるように思えてワクワクした。
- ・研究者にも、手を動かして作業するのが好きで生成AIに負けてしまいそうな人たちと、好奇心が強くて新知見が得られるならいくらかでもAIを使い倒してやろうと思っている人たちの2種類がある、という話が興味深かった。
- ・「今後」AIを使った研究が広がるんだろうなと思っていたら、まさに「今」研究がおこなわれていることを知り、自分の認識があまりにも遅れていたことに衝撃を受けました。茶話会でも現状認識を深める意見をたくさん知ることができ、大変刺激を受けました。ありがとうございました。
- ・会場参加者との質疑の中で出てきた「（今度、生身の人間に必要なことは）AIを押し返す力」という言葉が大変印象的でした。また、質問者が発しておられた、AIが自由に使える国・地域とそうではない国・地域の格差という点もこれまであまり考えてことがなかったので、大変刺激になりました。こういう質疑応答がフランクにされるのがこのセミナーの良い点だとも思いました。
- ・いつもタイムリーで刺激的な内容のセミナーをありがとうございます。大変参考になります。次回の向山先生のセミナーを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・今回の内容を自分が所属する大学内での議論の参考にさせていただきます。ありがと

うございました。

- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・大変面白いお話でした。ありがとうございました。
- ・大変面白いテーマ、ご講演でした。ありがとうございました。
- ・刺激的なお話で大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・素晴らしいセミナーでとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・先生のお話が面白く、とても勉強になりました。